

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○	○	○		○	○	○	

## 企業の概要

企業・団体名	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ東海	本社所在地	愛知県
業種	情報通信業	総従業員数	426名
事業概要	各種情報システム、それに係るソフトウェアの開発、保守の受託、販売並びに賃貸		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワークに関する取扱細則
テレワーク担当部署	経営企画部 人事総務担当
テレワーク対象者	全社員
実施者数	419名
平均実施日数	月8回以上12回未満程度(概ね週2~3回)

## テレワークの導入・拡大の経緯

- ①2013年試行導入、2014年本格導入(当初は、育児・介護の社員を対象者として実施)、全社展開にむけて準備していた。
- ②2020年4月から新型コロナウイルス感染防止のため、対象者を全社員としテレワーク全社展開。勤務日の5割~8割目標で在宅勤務を実施した。
- ③2021年9月現在では出社率として6割程度の状況である。

## テレワークの概要・特徴

テレワークの全社展開は、働き方変革の意識促進として、働く空間・時間のフレキシビリティをさらに高め、柔軟な働き方を促進し社員の持続的な成長を目的としている。フレックスタイム制における分断勤務やコアタイムの解除も可能となり、より柔軟な働き方の実現に寄与している。

### 【在宅勤務】

- 全社員対象(条件を満たせば、職種、年齢、性別等は問わない。)
- 会社貸与のシンクライアントPCのみ利用可
- 紙の情報の扱いは不可
- 適正な労働時間管理として、PCのログオン、ログオフ等でモニタリングを徹底している

### 【テレワークを実現するしくみ】

- 高セキュアなテレワーク環境 クラウドサービス BizXaaS®Office、ワンタイムパスワード認証サービス

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

### 【生産性向上】

- 労働時間の適正化
- フレックスタイム制との組み合わせにより、時間と場所にとらわれない柔軟な働き方を推進
- 集中して行う業務の生産性向上
- 外出/移動時間の有効活用

### 【BCPとしての活用】

- 新型コロナや、震災、台風等の際の事業継続

### 【ワークライフバランス】

- 育児、介護、妊娠中社員、遠距離通勤者等の多様な働き方の推進